

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】山口 千佳

授業者氏名	山口 千佳	学校名	小樽市立潮見台小学校
教科（科目）・領域	社会/総合的な学習	対象学年（人数）	6年 2組（23名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年 6月 （4時間）		

### 【実施概要】

1. 単元名(活動名)：環境にやさしい国・日本を旨として					
2. 実施する教科・領域： 社会科/総合的な学習	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
自分たちの日頃の生活を振り返り、環境にやさしい暮らしや活動について具体的に捉え、環境にやさしい取り組みをより多くの人が行ったり続けたりするにはどうしたらよいかを考えることができる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	環境にやさしい暮らしや取り組みについて考えたことを、自分の日頃の生活に生かそうとすることができる。			
	②思考力、判断力、表現力等	環境にやさしい取り組みをより多くの人が続けられるにはどうしたらよいか考え、表現できる。			
	③学びに向かう力、人間性等	仲間と協力して、認め合いながら課題に取り組むことができる。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】				
	5年生の3学期は、社会科の学習で自然災害や、公害についての学習を行ってきた。公害の学習では、自分たちの暮らしの在り方が、地球の環境に影響を与えることを学んだ。また、自然災害に対応したり、公害を乗り越えたりするためには、「人々が現状を変えたいと思うこと」、「協力して行動すること」が大切だと気づきがあった。本単元は、その次の「考えを深める」単元である。そこで、冬休み中に担任が訪れたスリランカのごみ問題について考えることを通して、環境問題は、他人事ではなく身近な問題であり、自分達にもできることがあるとの意識を持つことができると考え、この単元を設定した。				
	【単元の意義】 本単元では、教科書の中に資源やエネルギー、世界遺産、環境を守る取組など、環境にやさしい暮らしについての考えを広げるための資料が掲載されている。この資料を用いて、地球上の資源には限りがあることや、新たな資源の開発が自然環境に及ぼす影響などを捉えられるようになっていく。世界の様々な問題を自分事として考え、持続可能な社会の在り方を考えられる単元である。				
【児童/生徒観】					
全体的に自分の考えを発表できる児童が多い学級である。これまでにも、国語や社会の授業で、ポスターセッションやワールドカフェなどの形式で自分の意見を発表したり、友達の考えを聞いたりする活動を多く経験してきた。お互いを認め合う雰囲気があるため、積極的な対話が生まれるクラスである。グループ学習では、互いの意見を尊重しながら協					

働いて意欲的に取り組むことができるが、一方で、積極的にリードする児童に頼りっぱなしの面もある。今後は、協働での学習の後に、再度それぞれ自分で振り返り、題材について自分なりの考えや価値を持てる力を養っていききたい。

【指導観】

前単元では、自分たちの暮らしの在り方が、地球の環境に影響を与えることを学習してきたが、なかなか実感を得ることは難しかった。ごみ問題に対しても同じで、解決の一番の近道が3R（リデュース、リユース、リサイクル）であること実感させることは難しいと考えた。そこで、スリランカが抱える実際の問題を題材としたゲームや実際に協力隊としてスリランカで活躍する協力隊の話を通して、3Rが有効であることを実感させ、持続可能な社会の創り手としての意識を養っていききたい。

7. 単元計画（全 4時間）

時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの生活を振り返り、学習の見通しを持つ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>教科書の『環境チェック表』を使って、自分の日頃の生活を振り返る。</li> <li>『環境チェック表』の結果をもとに、日頃行っている取組の内容を確認し、取り組んでないものについては、なぜ取り組んでいないのか理由を話し合う。</li> <li>「持続可能な社会」にするために、自分たちが取り組めること・続けられることをクラスの友達に提案することが学習のゴールであることを掴む。</li> <li>次時で、ごみについて勉強することを予告し、日本のごみ問題の歴史と、スリランカのごみ処理方法について知る。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書（教育出版小学社会5年下）</li> <li>パワーポイント（資料①）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ問題対策ゲームを通して、自分たちの問題として環境にやさしい暮らしや活動について、考えることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>スリランカのゴミ山崩落事故について知る。</li> <li>「ごみ問題対策ゲーム」をする。</li> <li>ゲームの結果を班ごとに発表し、ごみ問題対策のために必要なことを考える。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイント（資料②）</li> <li>AFP BB NEWS 記事参考</li> <li>指示書（資料③）</li> <li>ゲームのセット</li> <li>記録書（資料④）</li> <li>処分シート（資料⑤）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年海外協力隊として活動している方のメッセージビデオを通して、自分たちの問題として環境にやさしい暮らしや活動について、考えることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>スリランカで青年海外協力隊として活動している方のメッセージビデオを視聴する。</li> <li>スリランカのごみ問題を通して見えてきた日本のごみ問題についても考える。</li> <li>日本のごみ問題に対して、自分たちが取り組めることを話し合う。</li> <li>感想を記入する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画（スリランカ訪問時に撮影）</li> <li>青年海外協力隊金地さんからのメッセージ</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の環境問題の事例を調べ、自分たちができることを考える。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>インターネット・図書室で、日本や世界の環境問題の事例を1つ選ぶ。</li> </ol>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化が問題になっているな。</li> <li>・色々な国でごみの問題が起きているな。</li> </ul> <p>2. 選んだ環境問題に対して、自分たちが取り組めること・続けられることを考え、提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化を遅らせるためには、少しでも冷房を使わない方がいいな。北海道なら扇風機で十分かな。</li> <li>・ごみ拾いのボランティアならできそうだな。</li> </ul>	
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

8. 本時の展開（2時間目）

- ・ 本時のねらい：ごみ問題対策ゲームを通して、自分たちの問題として環境にやさしい暮らしや活動について考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
<p>導入 (10分)</p>	<p>1. <b>スリランカのごみ崩落事故について知る。</b></p> <p>・スリランカのゴミ山崩落事故の写真を提示する。</p> <p>「これは、2017年に起きたゴミ山崩落事故の写真です。スリランカは2009年に内戦が終わった後、どんどん開発が進み便利になってきて、ごみも増えてきました。日本と同じようにスリランカでもごみは大きな問題となっています。」</p>	<p>スリランカの地理や文化については、道徳ですでに扱っている。</p>	<p>・パワーポイント（スリランカのゴミ山崩落事故の写真）</p> <p>AFP BB NEWS 「スリランカのごみ山崩落事故、死者28人に400超の世帯が避難」</p> <div style="text-align: center;"> <p>2009年に内戦が終わったスリランカ</p> <p>↓</p> <p>開発が進み、どんどん便利な世の中に！</p> <p>↓</p> <p>ごみも どんどん増え、日本と同じように「ごみ」は大きな問題となっている。</p> </div>
<p>展開 (25分)</p>	<p>2. <b>課題を掴む。</b></p> <p>課題：スリランカのごみ問題対策のために必要なことは？</p> <p>「今から、ごみ問題対策ゲームをします。」</p>	<p>スリランカのごみ対策のために必要なことは？</p> <p>～これ以上、被害事故を起こさないために～</p>	<p>・指示書</p> <p>・ゲームのセット</p> <p>・記録書</p> <p>・処分シート</p>

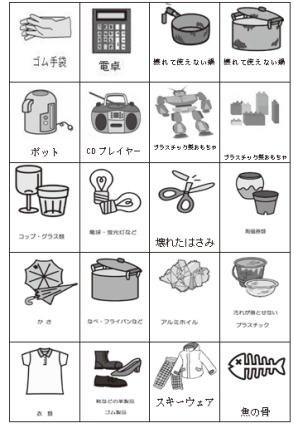


ごみ対策記録書

No.	品名	燃やした	コンポスト	リサイクル	オープンダンプ	その他
1						
2						
3						
4						
5						

合計紙数

ごみ処分シート（コンポスト）

<ルール>

- ・各チーム、最初にごみ30個とお金が1000手元にある。
- ・1回ごとにごみが10個または4個ずつ増えていく。

・ごみ処理の方法として、「燃やす」「燃やさない（埋め立て）」「コンポスト」「3R」の選択肢があるが、どの処分をするかチームで相談して決め、処分するためのシートを手に入れる。（1回で手に入れられるシートは2枚まで。）1枚のシートで、手持ちのごみを10個まで処分することができる。1回ごとに、どの処分をするかチームで相談して決める。

「燃やす」を選ぶと、ダンプサイトには処理後の灰（ブロック）が3増える。また、焼却に500お金がかかる。

「燃やさない（オープンダンプ）」を選ぶと、ダンプサイトには、処理後のブロックが9増える。また、埋め立て処分に300お金がかかる。

「コンポスト」を選ぶと、ダンプサイトには、処理後のブロックが3増える。また、堆肥化にお金はかかるが、できた土壌改良剤は、国内外で売れるので、お金が300手に入る。

「3R」を選ぶと、ダンプサイトには、処理後のブロックが1増える。翌年新たに増えるごみは4である。また、集まったごみの処理にお金はかかるが3Rが進み、ごみ処理の量が減ってきており、リサイクル品を商品化できるので、お金が200手に入る。

・5年（5回）行い、最終的に残ったごみは、そのごみの数の分だけダンプサイトにブロックが増える。最終的にブロックが少ないチームが勝ちである。お金は残さなくてもよいが、5年後に2000以上残ったチームは、新しい機械を導入できるため、最後にゴミ（ブロックではない）を15減らす。借金や、他のチームとの貸し借りはできない。

3. **ゲームの結果を班ごとに発表し、ごみ問題対策のために必要なことを考える。**

まとめ

(10分)

- ・コンポストは、海外で土壌改良剤が売れるから一石二鳥になるから、コンポストを勧めていこう。
- ・燃やすと、ゴミ山にたまる灰が少なくなるから、燃やした方がいい。
- ・3Rは、集まるごみの量が減るし、一人一人が分別する意識も持ててよい。

これ以上崩落事故を起こさないために、私達のグループは〇〇を勧めていきます。理由は・・・

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

- ・ごみ問題対策ゲームを通して、環境にやさしい暮らしや活動について、自分たちの問題として考えることができる。（行動観察・ノート）

10. 学習方法および外部との連携

スリランカ研修で出会った、青年海外協力隊員の金地さんのインタビュー動画を活用した。また、帰国後にメールで連絡を取り、スリランカ人のごみに対する意識や、スリランカのごみの処分方法、日本の子ども達へのメッセージをい

いただいた。

2時間目のゲーム（本時）の段階では、子ども達のごみ処分に対する考えが、「スリランカは焼却処分を取り入れるべきだ。」という結論に至る可能性が高い。確かに国土の狭い日本では主流になっている処分方法ではあるが、金地さんのメッセージでは、「本当に焼却処分でよいのか？」と訴えている。3R、特にリデュースが重要だとのメッセージが込められており、日本が今抱える問題を扱う3時間目の授業でとても重要であると考えた。

#### 11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

今回の単元は、まだ自分のクラス以外での実践はしていない。ただ、今回使用した教材を利用することで他のクラスでも十分実践可能と考える。また、4時間目に、自分たちが考えたことを提案したが、この活動をポスターにまとめ、廊下に掲示すると、他の学年への啓発にもなるだろう。いずれにせよ、今回の教材に改良を加えながら、さらに実践を重ねていきたい。

#### 【自己評価】

12. 苦勞した点	・スリランカのごみ問題を自分の問題として考えられるようにするためのゲームの考案が大変であった。複雑なごみ問題を、シンプルなルールにして、小学生でも理解できるようにするには、前時でしっかりとスリランカのごみ処理のシステムを押さえておくことが大事。また、ゲームの中でごみが増えたり、減ったり、お金の動きもあるが、その妥当性についても苦勞した。 ・本単元を行う時期。時数の確保。
13. 改善点	・「ごみ問題対策ゲーム」を行う際、ごみの種類をスリランカらしいものにしたほうが良い。 ・本単元を行う時期を5年生の3学期にすると、社会の環境問題や、家庭科の整理・整頓の学習とつなげやすく、時数も確保しやすい。
14. 成果が出た点	・2時間目にスリランカの問題を先に扱ったことで、焼却処分に対する考えに多様性が見られた。そのことが3時間目で日本のごみ問題について考えたときに、日本で主流である焼却処分についての考えが深まったように思う。



<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p><b>【2時間目】</b></p> <p>○これ以上崩落事故を起こさないために、私は、燃やすことを勧めます。理由は、ごみが落ちて死ぬくらいなら燃やしてごみを少なくするほうがいいから。</p> <p>○燃やすことを勧めます。お金はかかるけど、一番楽に処理ができるから。</p> <p>○オープンダンプ以外の全てを勧めます。理想は3Rとコンポストだけど、ごみを処理するのに時間がかかる。これ以上、崩落事故は起きてほしくないから、焼却も取り入れて、少しでもごみが溜まるのを防いだ方がいい。</p> <p>○これ以上崩落事故を起こさないために、私は3Rを勧めます。理由はごみも減らせるし、再利用したら別の物になるからです。</p> <p>○3Rを勧めます。手間はかかるけど、地球にやさしいからです。</p> <p>○3Rを勧めます。スリランカも日本と同じように分別をするといいと思った。その分人件費も安く済む。</p> <p>○コンポストを勧めます。地球に優しく人々の役に立つから。</p> <p><b>【3時間目】</b></p> <p>○僕が、日本のためにできることは、なるべく3Rを心がけることです。</p> <p>○今自分ができることは、なるべくごみを出さないことです。無駄なごみは増やしたくないです。</p> <p>○今自分ができることはごみ拾いです。今度の学校のごみ拾いボランティアでたくさん拾いたいです。</p> <p>○自分ができることは、なるべく物を最後まで使いきったり、お菓子のケースなどを捨てずに小物入れなどとして使いたいです。</p> <p>○家でコンポストに挑戦したい。</p> <p><b>【4時間目】</b></p> <p>○プラスチックを飲み込んでしまう海の生き物がいるので、プラスチックをあまり使わないようにしたい。エコバックを使う。</p> <p>○日本のごみ処理の仕方もまだまだ考えなければならぬと思った。地球にとって一番良い方法を考えていきたい。まずは、自分たちができることを続けていきたい。</p> <p>○地球温暖化が進んでいて、このまま行くと100年後には流氷がなくなってしまうそうです。そうすると、アザラシなどの動物もいなくなってしまうので、地球温暖化を防ぐ取り組みをしたい。そのために勉強して、焼却処分よりもいい方法を将来生み出したい。</p>
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>スリランカのごみ問題を通して、日本のごみ問題を見直すきっかけとなった。青年海外協力隊の金地さんから、実際にメールで子ども達へのメッセージをいただき、焼却処分への問題提起をしてくださったことが、「日本は本当にこのままでいいのか。」という問題意識へとつながった。意見は様々分かれたが、日本が焼却処分をするにしても、方向転換をするにしても、3Rは、とても大切であるとの意見に収束した。また、普段から行っている掃除当番の活動も、実はとても大切な習慣だということに気づいた児童もいた。子どもである自分たちができることは、まだまだ少ないかもしれないけれど、普段から行っている小さな習慣・活動をみんなで行えば、地球にやさしい暮らしにつながっていくことに少しでも気づけた授業となったと思う。</p> <p>また、今回青年海外協力隊の金地さんのメッセージが、とても大きなインパクトとなった。何度も丁寧にやり取りをしていただいた金地さんには感謝の気持ちでいっぱいであり、今回の授業のねらいではないにせよ、金地さんのような日本人が外国で活躍していることも子ども達には刺</p>

	激になっていた。「自分も勉強して将来みんなの役に立てる人になりたい。」という感想を持つ児童もいた。
--	---------------------------------------------------

参考資料：

株式会社首都圏環境美化センター スペシャルコンテンツ「ゴミの歴史」 <http://www.shutoken-env.co.jp/special/>

AFP BB NEWS 「スリランカのごみ山崩落事故、死者 28 人に 400 超の世帯が避難」

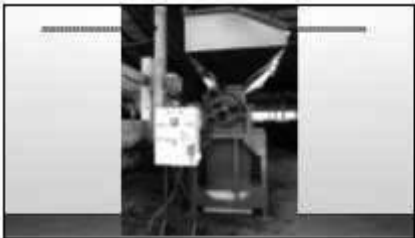
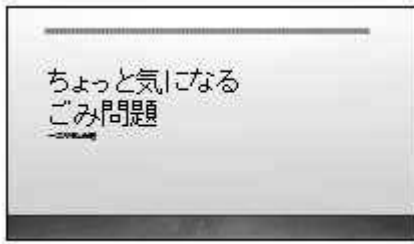
<https://www.afpbb.com/articles/-/3125411>



資料①

パワーポイント資料

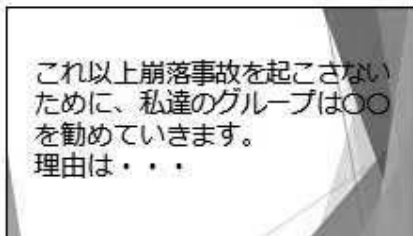
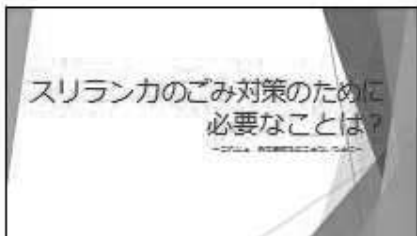
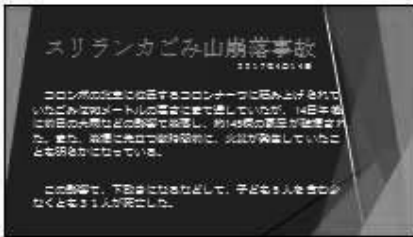
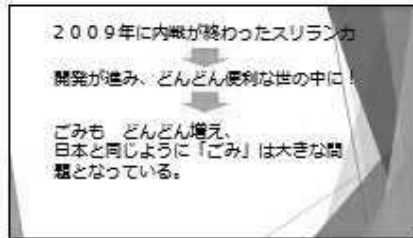
※スリランカ滞在時に撮りためた写真



資料②

パワーポイント資料

※AFP BB NEWS「スリランカのごみ山崩落事故、死者28人に 400越の世帯が避難」参照



# ごみ問題対策のために必要なことは？ 指示書

## <ルール>

- ・各チーム、最初にごみ30個とお金が1000円手元にある。
- ・ゲームは、全部で5回（5年）
- ・1回（1年）ごとにごみが10個（3Rをした次の年は4個ずつ）増えていく。

○ごみを配ったら、2分間の相談タイムを取ります。

・ごみ処分の方法として、「燃やす」「燃やさない（埋め立て）」「コンポスト」「3R」があるが、どの処分をするかチームで相談して決め、処分するためのシートを手に入れる。（1回で手に入れられるシートは2枚まで。）1枚のシートで、手持ちのごみを10個まで処分することができる。1回ごとに、どの処分をするかチームで相談して決める。

「燃やす」を選ぶと、500円お金がかかる。ダンプサイトには処理後の灰（ブロック）が3増える。

「燃やさない（オープンダンプ）」を選ぶと、300円お金がかかる。ダンプサイトには、処理後のブロックが9増える。

「コンポスト」を選ぶと、ダンプサイトには、処理後のブロックが3増える。また、堆肥化にお金はかかるが、できた土壌改良剤は、国内外で売れるので、お金が1個のごみにつき、30円手に入る。（10個なら300円）

「3R」を選ぶと、ダンプサイトには、処理後のブロックが1増える。 次の年に新たに増えるごみは








4である。また、集まったごみの処理にお金はかかるが3Rが進み、ごみ処理の量が減ってきており、リサイクル品を商品化できるので、お金が1個のごみにつき、20円手に入る。（10個なら200円）

○1回終わったら（1年経ったら）、また新しいごみを配り、2分間の相談タイムを取ります。

・5回（5年）行い、最終的に残ったごみは、そのごみの数の分だけダンプサイトにブロックが増える。最終的にブロックが少ないチームが勝ちである。お金は残さなくてもよいが、5年後に2000円以上残ったチームは、新しい機械を導入できるため、最後にゴミ（ブロックではない）を15減らす。借金や、他のチームとの貸し借りはできない。

# ごみ対策記録書

資料④

	処分	出て行くお金 入ってくるお金	増える ブロック	残っている お金	今あるごみ	今ある ブロック
例) 1回目	燃やす	-500	3 	500 	20	3
<b>1回目</b>						
<b>2回目</b>						
<b>3回目</b>						
<b>4回目</b>						
<b>5回目</b>						



最終結果

ブロックの数	
--------	--

資料⑤

ごみ処分シート（燃やす）


ごみ処分シート（燃やさない・オープンダンプ）


ごみ処分シート（コンポスト）


ごみ処分シート（3R）

リデュース リユース リサイクル
